

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

活力みなぎる区政を区民と築く 平成23年度予算

4月からの1年間に区が行う事業と、その経費を定めた23年度の予算が決まりました。

新年度予算の内容について、特集で紹介します。

☎ 財政課 ☎(5662)6148

予算総額 **3,301億円**

一般会計 **2,229億円**

平成23年度 予算編成にあたって 江戸川長 多田正見

はじめに、東北地方太平洋沖地震で亡くなられた方々のご遺族に、深く哀悼の意を表しますとともに、被災されたみなさまには、心からお見舞いを申し上げます。

まさに、人知を超えた途方もない想定外の大災害が現実となりました。国難とも言えるこの状況に、区としても被災地への物資・人的支援など、総力を挙げて取り組んでいきます。区民のみなさまにおかれましても、義援金など温かいご支援をお願いいたします。

さて、我が国の社会経済情勢は依然厳しい状況にあり、改善の兆しを見いだせません。本区においても、財政調整交付金^(※1)の減少が区財政を直撃しています。

このような中、23年度予算も大変厳しい編成を余儀なくされました。そこで、

これまで積み立ててきた基金を今年度も一部取り崩し、高齢化や不況に伴う福祉・健康施策、学校改築にかかる経費など、必要なところに予算を配分し、メリハリのある編成といたしました。

これまで本区は、徹底した行財政改革を断行し、サービスを向上させながらも効率的な行政体制を確立してきました。これらにより、健全財政の指標となる、実質公債費比率^(※2)が、2年連続で全国自治体第1位となりました。

こうした区政運営の基盤となっているのは、地域に連綿と受け継がれてきた「良きコミュニティ」であります。今後、時代が変わろうとも、この良き文化を守り、「共育」「協働」の理念の下、すべての区民が夢と希望を抱ける区政の実現を目指してまいります。



■誰もが安心して暮らせる「生きる喜びを実感できるまち」を目指して

平成23年度 重点施策

●未来を担う人づくり

築50年を経過した小・中学校の改築を、松江小学校から順次着手していきます。また、区立保育園の改修や私立保育園の施設整備のほか、認証保育所を2園開設するなどにより、保育定員の拡大を図ります。

●学びと協働による区民文化づくり

4月にオープンする長島桑川コミュニティ会館、24年1月に新築移転予定の小岩図書館、25年4月に開設予定の新川地区文化施設など、新たな地域文化の拠点となる区民施設を建設します。

●いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

乳幼児を対象に、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成を行います。また、高齢者向けの優良賃貸住宅の建設支援、精神障害者を対象にした就労移行支援事業所の開設および関係機関と連携した就職支援を行います。

●区民参加による環境づくり

家庭で不用になった古着・古布を回収し、資源の有効活用を図ります。また、小規模事業所への省エネ診断を実施するとともに、業種別の省エネマニュアルを作成します。

●活力を創造する産業づくり

創業支援（インキュベーション）施設を整備し、区内の新規ベンチャー企業を支援します。また、産業に役立つアイデアを区民から募り、優れた作品を表彰する「産業発明コンクール」を実施します。

●区民暮らしを力づくよく支えるまちづくり

JR小岩駅周辺や密集住宅市街地の整備など、都市基盤の充実を図ります。また、住宅・マンションの耐震化などをはじめとする災害に強いまちづくりや都市計画道路の整備などを進めていきます。

●区民本位で効率的な区政運営など

学校給食調理業務委託校を拡大するなど、民間活力を更に活用します。また、今後10年にわたって区が実施する施策や事業を体系化した基本計画を策定します。

新年度予算の主な新規・拡充事業→2・3面
数字でみる平成23年度予算→4面

※1 都と区で配分する税金。区の収入の約35%を占める財源です（4面参照）。

※2 経常的な収入に対する借金返済の負担割合。江戸川区は全国最良の数値です。

安全・安心で魅力あるまちづくりを進める主な新規・拡充事業

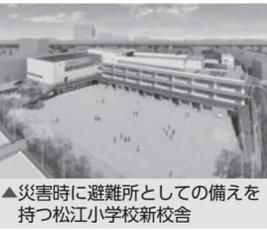


未来を担う人づくり

多様な保育サービスの提供

- ◇**認証保育所の運営助成(拡)** 12億4,306万円
認証保育所の運営費や新たに開設する2施設の開設の助成を行います。
- ◇**私立保育園への保育委託(拡)** 64億6,441万円
私立保育園の定員の増加などに対応するため、私立保育園への委託を拡大します。
- ◇**私立保育園施設整備等助成(拡)** 9,384万円
私立保育園の施設建設・開設準備経費などを補助します。
- ◇**民間子育て事業の支援(拡)** 4,384万円
病気の回復期にあって、まだ集団生活が困難なお子さんを一時的に預かる民間病後児保育施設を3施設から5施設に拡充します。

21世紀にふさわしい学校教育の推進

- ◇**松江小学校の改築(拡)** 16億7,654万円
築50年を経過し、老朽化した区立の小・中学校を改築します。その1校目にあたる松江小学校では、学校が地震や水害時の避難所となることから、水没の危険性の少ない2階に体育館や防災倉庫を設置し、また、断水時に屋上プールの水を校内トイレに給水できるように配管するなどの工夫を施します。

▲災害時に避難所としての備えを持つ松江小学校新校舎
- 今後、総額2,000億円規模の学校改築を開始するにあたり、区独自の「新入札制度(入札価格に加えて地域貢献度を加味して施工業者を選定する方法)」を採用しますが、今回の改築工事がその第1号になります。
- ◇**全国学力・学習状況調査の全校実施(新)** 2,136万円
区立の全小・中学校で全国学力・学習状況調査を実施し、確かな学力の向上を図っていきます。
- ◇**読書環境の整備(拡)** 1億3,310万円
学校図書室の蔵書を充実させるため、小学校に4万8,000冊、中学校に3万冊の本を購入します。読書環境を整備し、子どもたちが本に親しむ機会を増やすことで、豊かな人間性を養っていきます。
- ◇**特別支援教育の推進(拡)** 5,362万円
配慮を要する子どもたちを適切に支援していくため、大杉小学校、鹿骨東小学校、松江第一中学校に特別支援学級を開設します。

学びと協働による区民文化づくり

人生を豊かにする生涯学習

- ◇**小岩図書館の新築移転準備(新)** 2億9,842万円
老朽化に伴い、東小岩三丁目に新築移転します。11万5,000点の蔵書を揃え、また、音楽室や集会室などを備えた地域文化の拠点施設として、24年1月開設を目指し建設を進めています。

▲開館が待たれる小岩図書館

江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動

- ◇**長島桑川コミュニティ会館の運営開始(新)** 6,215万円
スポーツルームや集会室、健康スタジオ、音楽室などを備えた区内23番目のコミュニティ会館として、4月10日(日)に開館します。

▲開館間近の長島桑川コミュニティ会館

創造性豊かな江戸川文化

- ◇**新川地区文化施設建設(新)** 6億9,500万円
区南部の葛西・船堀地区を約3kmにわたって流れる新川の千本桜計画に合わせ、新川の歴史を伝え、地域交流を創出する施設を、25年4月の完成を目指し建設を進めています。

▲新川地区文化施設の完成イメージ

いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

生活習慣病と健康

- ◇**がん予防対策(新)** 511万円
区民の死因割合の約30%を占めるがんを予防するため、専門医師などによる検診会の設置や普及啓発強化月間を実施します。

生涯スポーツの推進

- ◇**国民体育大会(東京国体)の開催準備(新)** 4億2,784万円
25年9月に開催予定の東京国体の準備として、実行委員会の設立、臨海球技場第一のグラウンド改修(人工芝敷設)などを行います。

感染症と健康危機への対応

- ◇**小児用肺炎球菌ワクチン接種の費用助成(新)** 5,857万円
2か月児～4歳児を対象に、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の半額を助成します。
※ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンについては、ワクチン接種を一時的に見合わせていましたが、厚生労働省が接種再開を発表しました。これにより、4月中を目途に、対象者へ接種票を発送する準備を進めています。詳しくは今後の広報えどがわなどでお知らせします。

高齢の人々の生活支援

- ◇**社会福祉士等卒後連携事業(新)** 4,071万円
社会福祉士および精神保健福祉士の養成課程の卒業生を、「福祉・介護支援員」として最長3年間雇用(非常勤職員)します。期間終了後は、区内の福祉施設や医療機関などで活躍してもらうことで、区

の福祉向上に寄与する人材育成を目指します。

- ◇**高齢者向け優良賃貸住宅推進(新)** 2億1,754万円
60歳以上のひとり暮らしの方または夫婦のみの世帯を対象とした、バリアフリーを備え、かつ緊急時の対応サービスを備えた賃貸住宅の建設費などの補助を行い、高齢者の住居の安定確保を目指します。

障害のある人々の生活支援

- ◇**精神障害者就労移行支援事業所の開設と経営ネットワークの支援(新)** 792万円
区内で初となる精神障害者就労移行支援事業所を開設します。区が施設を無償で貸し出し、NPO法人が運営します。精神障害者の方が様々な活動を通じて訓練を行うことで、一般就労の機会拡大を図ります。また、同事業所を、江戸川区における「精神障害者のための就労支援施設ネットワークの中核」と位置づけ、ハローワークなどと連携し、精神障害者の方の社会復帰を支援します。

区民参加による環境づくり

ごみの減量と資源リサイクル

- ◇**古着・古布リサイクル移動回収(新)** 132万円
区役所など18か所において、移動回収車による古着・古布の回収を行います。リユース・リサイクルの取り組みを拡大することで、日本一のエコタウンを目指します。


地球環境への配慮

- ◇**小規模事業所への省エネ支援(新)** 606万円
エネルギー使用量が一定規模以下の事業所への業種業態別省エネ診断を実施し、診断結果から、事業内容に応じた省エネマニュアルを作成します。

活力を創造する産業づくり

ものづくり産業の活性化

- ◇**産業発明コンクールの実施(新)** 100万円
産業に役立つ作品などのアイデアを区民から広く募り、優れた作品を表彰し、ものづくり意欲の高揚・技術の進展を図ります。
- ◇**創業支援(インキュベーション)施設整備(新)** 2,611万円
区内産業の活性化を目指して、将来の地域経済の牽引役であるベンチャー企業などを効果的・効率的に支援する創業支援施設を小岩地区に整備します。

商業・生活サービス業の活性化

- ◇**モデル商店街支援事業(拡)** 500万円
購入した品物を自宅まで届ける配達サービス事業を推進し、熟年者や子育て世代などに優しい商店街づくりを目指します。

区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

都市基盤の充実・質の向上

- ◇**JR小岩駅周辺まちづくり(拡)** 2億2,660万円
まちづくり基本構想に沿い、JR小岩駅周辺地区のまちづくりを進めます。南小岩七丁目西地区では、都市計画決定や実施設計を行い、26年度に新たなまちのシンボルとなる高層ビルの完成を目指します。

▲南小岩七丁目西地区の完成イメージ
- ◇**密集住宅市街地整備促進事業(拡)** 4億2,703万円
木造住宅が密集した地域における住環境の質を高めるため、区内8地区で進めている密集住宅市街地整備促進事業について、新たに二之江西部地区を事業化し、9地区で事業を進めていきます。

利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

- ◇**レンタサイクル実施駅の拡大(拡)** 518万円
これまで区南部の3駅(葛西・西葛西・葛西臨海公園駅)で実施しているレンタサイクルを、船堀・一之江駅でも実施します。船堀・一之江両駅に新規購入自転車各50台、再生自転車各50台、計200台の自転車を配置します。既存の3駅との相互利用(当日利用のみ)も可能となり、更なる自転車利用を促進します。
- ◇**都市計画道路整備(拡)** 26億9,331万円
現在事業中の7路線11か所(8,348m)の道路整備を進めていきます。
- ◇**橋梁の整備(拡)** 7億1,266万円
新中川橋梁整備として、上一色中橋の架け替えのための工事を進めます。また、新川橋梁整備として、新川千本桜計画に合わせ、人道橋・広場橋などの整備を進めていきます。

安全で災害に強いまちづくり

- ◇**住宅等の耐震化促進(拡)** 2億8,086万円
昭和56年5月31日以前の耐震基準で建てられた戸建て住宅やマンションの耐震化への助成を進めます。また、緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成を拡充し、民間住宅などの耐震化促進を図っていきます。

区民本位で効率的な区政運営など

- ◇**次期基本計画の策定(新)** 828万円
14年7月に決定した、向こう20年間を見据えた区の基本構想を実現するため、24年度から始まる次期(10年)基本計画を策定していきます。このため、(仮)次期基本計画策定検討委員会の開催などを行っていきます。
- ◇**民間活力の活用促進(拡)**
出納事務の一部業務委託、指定管理者による施設管理の推進(24年度に新たに導入する福祉作業所、更新するえがおの家、新川地下・なぎさ南・東大島駅駐車場の準備)、学校給食調理業務委託校の拡大など、民間活力の活用により行財政改革を加速させ、より効果的な行政運営を目指します。

※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。



発行/江戸川区 編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652) 1151(代表) FAX(3652) 1109 ホームページ http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

数字でみる 平成23年度予算

会計別予算の規模

区分	23年度	22年度	増減率
一般会計	2,229億4,398万9千円	2,129億1,306万6千円	4.7%
国民健康保険事業特別会計	694億5,772万5千円	671億2,771万9千円	3.5%
介護保険事業特別会計	290億554万円	269億9,225万5千円	7.5%
後期高齢者医療特別会計	86億5,854万円	82億2,532万8千円	5.3%
老人保健医療特別会計(※)	—	5,987万6千円	皆減
合計	3,300億6,579万4千円	3,153億1,824万4千円	4.7%

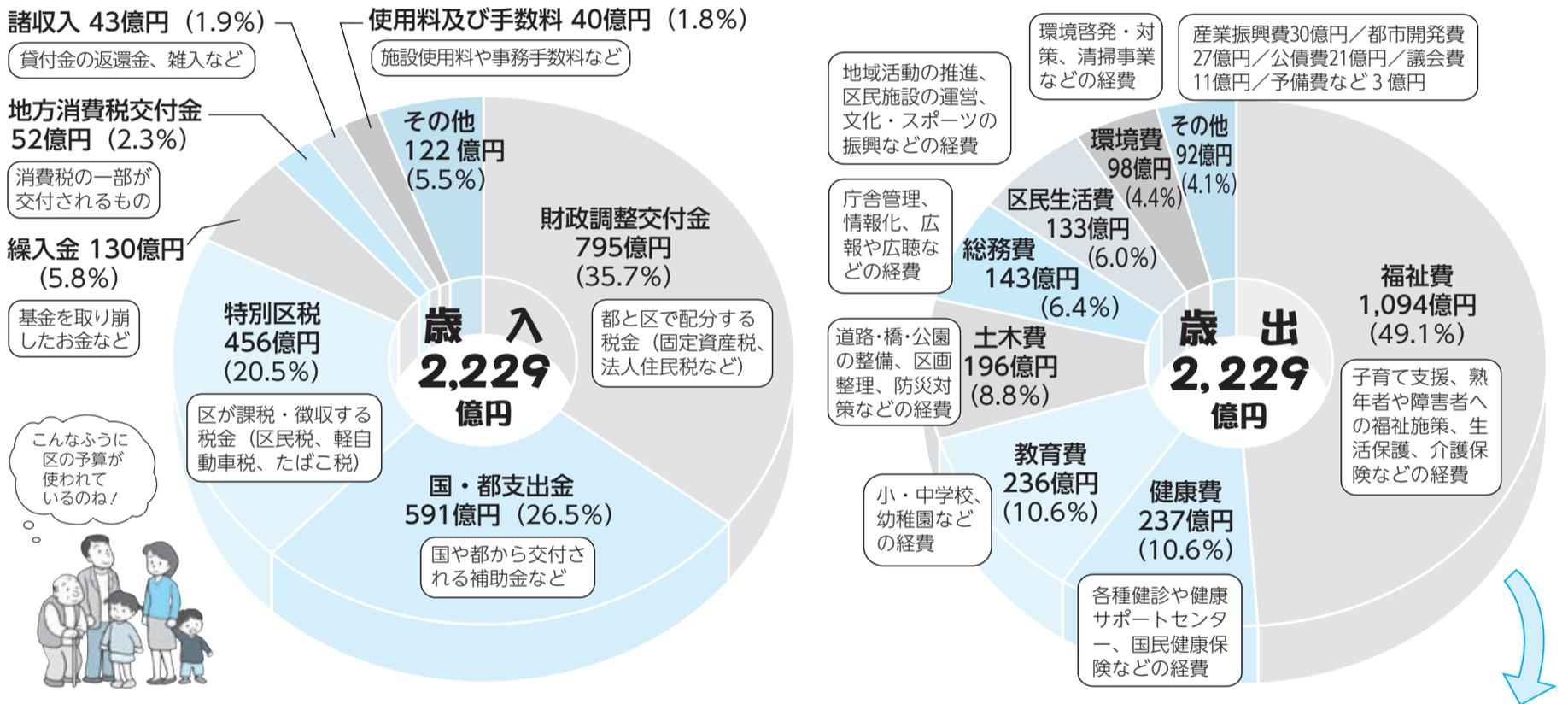
※老人保健制度(平成19年度まで実施)の清算期間が終了したため廃止。

区では、区民のみなさんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結する様々な施策を行っています。限られた貴重な財源を区民サービス向上のため有効かつ適切に活用し、安全・安心の区政を進めます。

問 財政課 ☎(5662) 6148

一般会計の内訳

※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。構成比は千円単位での比率です。



歳出の性質別内訳

扶助費 817億円 (36.7%)	人件費 383億円 (17.2%)	物件費 362億円 (16.2%)	繰出金 208億円 (9.3%)	投資的経費 204億円 (9.2%)	補助費等 161億円 (7.2%)	その他 94億円 (4.2%)
生活保護費、熟年者や障害者への手当、医療費助成などの経費	職員の給与・退職金、委員の報酬などの経費	物品購入、仕事の委託などの経費	国民健康保険、介護保険など特別会計を支える経費	道路・公園、施設の整備や用地取得などの経費	幼稚園保育料や学校給食費の補助、融資の利子補給などの経費	維持補修費58億円、公債費21億円ほか

一般会計予算額を1万円に換算すると・・・

熟年者福祉 障害者福祉などに 2,672円	子育て支援などに 2,233円	道路・公園の整備 まちづくり、防災対策などに 1,003円	健康施策 国民健康保険事業などに 1,064円	学校教育などに 1,058円
地域活動の推進 文化・スポーツの振興などに 595円	環境啓発・対策 清掃事業などに 441円	産業の振興などに 135円	区の借入金の返済に 95円	その他(区政運営・議会活動) 704円